

新島村食育推進計画(第二次)

～日本一健康な島をめざして～



平成 28年3月

東京都新島村

～はじめに～

現代は色々な食品が手に入り、適切な量と質の食事がとれているかと問えば疑問を感じざるをえません。バブル経済期に始まる「本物志向」が平成不況期以降も定着する一方、1990年代には、安価でも安全性に疑問が残る外国産の農産物が市場に氾濫し、食の安全の問題がクローズアップされました。

こうしたなか、国内の高い農産物でも「安心・安全で高品質」をアピールすることで、地産地消の流れが徐々に定着してきています。

戦後の食糧不足から飽食の時代へ大きく変わった日本の食生活ですが、理想の日本型食生活とは「和食」でも「粗食」でもなく、1980年頃の日本人の食生活をモデルにしたもので、その食生活こそ、「栄養バランスが優れた食生活」として、最近世界から注目を集めています。

飽食が行きついた末、一番の恐ろしさは生命の危機が潜んでいることで、国民病を代表する例が糖尿病です。糖尿病の一番恐ろしいところは、最悪の場合、生命をおとすことにもつながってしまうことです。日本の人口の約2%弱という数字に、正直驚きを隠せませんが、糖尿病予備群を合わせたら、さらに多くなるとも言われています。また、糖尿病が原因で、人工透析が適応となる人が、毎年約1万人増加しています。新島村におきましても、糖尿病が医療費の割合を大きく占めており、食生活の見直しが求められています。

新島村では「日本一健康な島をめざして」をスローガンに、住民の健康づくりのために「さわやか健康センター」を設置し、健康づくりに取り組んでいます。

この度、新島村食育推進計画を改定し、誰もが関わる「食」について、多様な分野の関係者が相互の特徴を生かし、柔軟な対応と連携でより積極的に推進して参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

平成28年3月

新島村長 青 沼 邦 和

目次

第1章 食育推進計画の改定にあたって

- | | | |
|---|------------|---|
| 1 | 計画策定の経緯 | 1 |
| 2 | 計画改定の趣旨 | 1 |
| 3 | 計画の性格・位置づけ | 1 |
| 4 | 計画の期間 | 2 |

第2章 食をめぐる現状と課題

- | | | |
|---|-------------------|---|
| 1 | 子どもたちの食をめぐる現状と課題 | 3 |
| | 子どもステージの目標設定項目の結果 | 4 |
| 2 | 大人～高齢者の食をめぐる現状と課題 | 5 |
| | 大人ステージの目標設定項目の結果 | 6 |

第3章 食育推進の基本理念

- | | | |
|---|----------------|---|
| 1 | 新島村がめざす食育の基本理念 | 7 |
| 2 | 新島村の食育の基本目標 | 7 |

第4章 ライフステージ別から見た具体的な施策の展開

- | | | |
|---|----------------------|----|
| 1 | 子どもたちの食育の推進 | |
| | 妊産婦～乳幼児ステージ | 8 |
| | 保育園ステージ | 9 |
| | 小学校～高校ステージ | 10 |
| 2 | 大人～高齢者の食育の推進 | 11 |
| 3 | 地域との連携・食の提供者による食育の推進 | 12 |

第5章 食育推進計画の活用について

参考資料

- | | | |
|---|---|----|
| 1 | 新島村の食をめぐる環境と実態
新島村がめざす「途切れない食育」 | 15 |
| 2 | 平成27年10月「新島村の子どもの食生活状況調査」
平成27年10月「新島村の子どもがいる家庭の食生活状況調査」より | 16 |
| 3 | 平成26年4～7月
「新島村健康づくり推進協議会最終評価アンケート」より | 25 |